

【経済トピック第 73 号】

在アゼルバイジャン日本大使館  
2021 年 12 月 27 日

### 電気自動車(EV)ほかエコカーの導入状況

アゼルバイジャンではエコカーの導入が徐々に進んでおり、2021 年は 11 月迄にハイブリッド車(HV)11,464 台(前年同期比 2.5 倍)、電気自動車(EV)153 台(同 4.8%増)が輸入されました。また、2020 年に輸入された EV 計 167 台のうち 100 台は英国 LondonEV (LEVC)社のタクシーでした(バクータクシーサービス社が供用)。このほか米国(含 TESLA)、中国、日本、韓国、ドイツ等から EV 輸入があります。バスでも HV(トルコ)、EV(ベラルーシ)が各々数台輸入されています。

アゼルバイジャン政府もエコカーの普及を促進しており、2022 年より EV 及び HV の輸入販売に係る VAT(付加価値税)の免税措置が開始されます。

なお、EV 充電設備は CCS 規格(欧米)が多いようですが、アズペトル社(Aspetrol)のガソリンスタンド(14 か所)に設置された充電器(ABB 製)のように、CCS 規格、CHAdeMO 規格(日本)、AC 規格等の多方式に対応した設備もあります。

(以上)